

紙幅の関係で敬称略で報告いたします

拡がるフードドライブ

定期回収拠点は
HPに掲載

中栄信金→

～夏季フードドライブ～

- 中栄信金** 秦野・平塚他16店舗 7月1日～8月31日まで
- ユニー** 8月1日～8月31日 80店
- JAさがみ** 本店・金融店舗計44カ所 8月2日～8月20日
女性組織さわやか倶楽部 7月1日～8月27日
- パルシステム神奈川** 8月16日～8月27日 全センター
- 生活クラブデポー** (各閉所日除く)
横浜北・かわさきのデポー 8月30日～9月5日
横浜みなみ・湘南・さがみのデポー 9月6日～9月12日

～常設～

- イトーヨーカドー** 18店
- 無印良品** 横浜市内15店
- イオン** 金沢区内2店
- そうてつローゼン** 泉区3店+8月10日より4店新設予定
三ツ境店・釜利谷店・磯子店・六ツ川店
- パルシステム神奈川** 全センター



JAさがみ

拡がる継続支援

募金

JA横浜女性部



JA横浜女性部の皆さんは募金によりフードバンクに不足する食品の寄付とお金の寄付を継続されている。部長の斎藤有美さんは「地域に貢献できることがうれしい」と話す。

第一生命
弥生台支店

食品
寄付

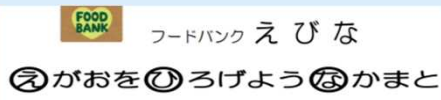
Micoron
メモリージャパン



拡がる行政の食品配布

コロナ禍で、県央エリアでも行政・社協を中心に市民を巻き込んで、必要な人に食品を提供する活動が活発になっている。広報力を活かし100人～200人規模で企画され、必要な人へ食品が届く機会が増える。一方で、提供食品の確保・充実が求められる、地域の団体や市民によびかけ、提供食品の幅を広げることも必要だ。

フードバンクえびな



7月31日に住宅確保給付金受給世帯、高齢者世帯、家計改善支援導入世帯、障がい者世帯などを対象に実施。会場の一つわかば会館には25世帯が来場。今後毎月1回実施予定。アンケートには「皆さん親切で品物が貰いやすいです。ありがとうございました」とあった。



海老名市の会場

フードリンクあやせ

綾瀬市福祉総務課×綾瀬市社協×市民グループが、主体となり、市民寄付とフードバンクから提供し食品等を配布した。
第1回 3月4,547点の寄付があり、109世帯に配布
第2回 4月159世帯に食品と日用品配布
第3回 7月1か月寄付を集め31日に164世帯に配布。



今回は食品のほかに子ども用衣類や児童書も提供。



フードリンクあやせのボランティアの打ち合わせ

はだのこここ フードマーケット

8月1日市内在住の食品希望者160世帯が市役所を訪れた。社協への寄付金、地域公益事業基金、寄贈、庁内のフードドライブ、フードバンクかながわからの食品に加えて、JAはだのが野菜や米を提供し、当日ソロプチミストなど市民も参加した。

秦野市では市と社協が連携し、権利擁護・成年後見・生活困窮自立相談機能の「はだの地域福祉総合相談センター・きゅっち」を開設している。



秦野市の会場スタッフの方々

お問い合わせ

公益社団 フードバンクかながわ info@fb-kanagawa.com
236-0051 横浜市金沢区富岡東2-4-45
Tel. 045-349-5803

発行責任：藤田 誠



基本情報 2021年度の累計 (2021/7/31現在)

寄贈食品計	57.5ト	提供食品計	815回	68.2ト
企業・生協等	34.9ト	行政・社協	206回	15.1ト
フードドライブ	17.0ト	地域フードバンク	148回	21.2ト
寄付金購入	5.6ト	こども食堂等	319回	21.9ト
		支援施設等	14回	1.2ト
		福祉・病院関係	85回	8.8ト

6月寄贈 18.9ト
提供 17.9ト

7月の状況 7/1~7/31 寄贈 17.5ト 提供 18.9ト

寄贈 17.5ト		提供 132団体、204回、18.9ト			
団体別	重量	団体別	団体数	回数	重量
企業・生協・JA等	9.6ト	行政・社協	34団体	59回	6.1ト
フードドライブ	4.3ト	地域のフードバンク	20団体	38回	5.3ト
寄付金での購入	3.6ト	こども食堂等	55団体	72回	5.7ト
		自立支援施設等	4団体	5回	0.3ト
		福祉・医療・外国籍関係	19団体	30回	1.5ト

寄贈

紙幅の関係で敬称略で報告いたします。

事業者寄贈

ユーコープキャンセル品 1,574kg、ミツハシライス 米600kg、日生協 かりんとう他386kg、東京アライド コーヒー 216kg、日本食研レトルト・たれ類 148kg他
〈防災備蓄品〉セカンドリーグ 非常食セット2,106kg、横浜市総務局 水他1,680kg、相模原市 ビスケット757kg、伊藤火腿 缶436kg、生活クラブ 非常食セット415kg、東陶 ビスケット357kg、藤沢市 缶ミルク196kg、横浜銀行 アルファ米169kg他

フードドライブ

イトーヨーカドー 977kg、ユーコープ(募金購入含) 881kg、三菱重工業環境化学エンジニアリング労組 アルファ米 424kg、川崎労協395kg、横須賀市 342kg、JA横浜女性部 303kg、無印良品 171kg、綾瀬市社協 156kg、micronメモリージャパン 152kg、中栄信金 131kg、金沢区社協126kg、西湘労協77kg、個人258kg他

提供

○行政・社協 横浜市ひとり親支援1.6ト、綾瀬市食支援1ト、相模原市学生支援・ひとり親支援633kg、秦野市社協の食支援514kg、海老名市食支援287kg他
○フードバンク お福分けの会1ト、くろばーマーケット1ト、浜っこ南440kg、ふじさわ418kgほか
○こども食堂 55団体に提供。登録団体中6割が稼働している。横浜市立大学471kg、満福うえのまち食堂ト378kg他
外国につながる人々の支援
ブラジルsolidario横浜333kg
外国人すまいサポートセンター 36kg
病気と闘う家族を支える
リラのいえ(スマイルオブキッズ) 235kg

寄付金での購入

米、カップ麺・缶詰他
ユーコープ・JA横浜女性部・アンリッポ労組・JHP学校をつくる会等寄付

合意書締結団体

寄贈締結団体 180団体
提供締結団体 239団体
行政・社協 56団体
市民団体 183団体
(子ども食堂・居場所・施設・福祉関係)

賛助会員寄付状況

団体会員184団体 621口
621万円
個人会員 264人1,351口
1,351千円
寄付
2021年度 5,957,321円
累計 42,092,418円

メッセージ

フードバンクの取組みは
具体的なSDGsアクションです

神奈川県政策局 いのち・未来戦略本部室
室長代理 (SDG s 連携担当)

沖田 弓弦 さん

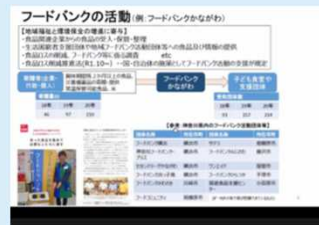
コロナ禍の影響は、女性や子どもなど、特に立場の弱い人達ほど大きくなっています。そうした状況の解決に向けて、住民、企業などの多様な主体による取組が、期待されています。パートナーシップを掲げるSDG s への意識が高まる中、神奈川県では多様な連携を後押しし、共助の拡大に向けた取組を始めています。

例えば、地域交流の拠点や子どもの居場所である「子ども食堂」はコロナ禍で相当の影響を受けています。一方で、売れ残り食材や余剰品を抱える店舗や生産現場などもあります。また、SDG s を実践したい、活動を応援したいという企業の方もいます。そして、そういう方をつなぐ結節点が「フードバンク」であります。

そこで、SDG s を「道しるべ」に「つなぐ」ことで、課題解決に向けた活動の輪を広げていくため、7月29日には子ども食堂やフードバンクかながわの方と直接意見交換できる「SDG s アクションサポートミーティング」をオンライン開催し、87名の方に参加いただきました。

こうした取組みを広く発信・共有することで、取組に対しての関心を呼び起こしていきます。

上記のミーティングには
なかなかや和田さんと
藤田事務局長が登場



あれこれ

中学生も
ボランティア

クラダシより500ℓの
冷凍庫と寄付金を頂く

横浜銀行杉田支店長。
備蓄品169kg 寄贈



JFEスチール体験研修受けいれ



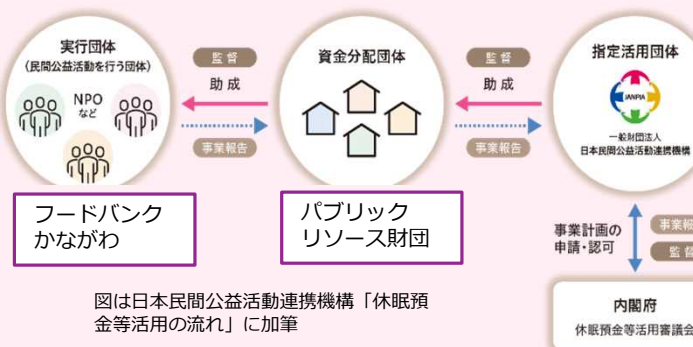
イトーヨーカドー
別所店新人研修に参加



休眠預金3年間3,500万円助成が決定

公益財団パブリックリソース財団による「中核的フードバンクによる地域包括支援体制」構築事業に応募し、2021年7月~2024年3月までの事業活動に計約3,500万円の助成が確定した(全国5団体)。

休眠預金とは10年以上取引のない預金等(休眠預金等)を、社会課題の解決や民間公益活動の促進に使う制度を活用する国の事業で、今回の助成で中核的フードバンクとして、物流、取り扱い品目の拡充をめざす。



図は日本民間公益活動連携機構「休眠預金等活用の流れ」に加筆